



## 地域の魅力を生かした教育活動 ～「山形紅花まつり」を通して郷土愛を育む～

### 山形市立高瀬小学校

#### はじめに

「紅花の里 大好き高瀬」、アニメーション映画「おもひでぼろぼろ」の舞台となった山形市高瀬地区は、「山形紅花まつり」を開催する地区として、市内外から知られています。その地区を代表する祭りに子供たちが参加するようになって8年目。保護者や地域の方々に協力をいただきながら学習に取り組んでいます。

#### 実践の紹介

##### 紅花を通して、地域から学ぶ（3年生）

毎年3年生は、山形県、山形市の花、「紅花」を栽培します。紅花の種をまき、間引きをし、その生長の様子を観察していきます。間引きした紅花は、ゆでておひたしにしたり、乾燥させて食用に加工したりします。そして、煮びたしなどをつくりまします。

7月、紅花の花びらを摘み、乾燥させて乱花をつくりまします。「手袋をしていても葉っぱのとげが刺さって、収穫は大変だった」と3年生。乱花が完成したら、それを使ったお菓子や漬物、「紅花アイス」などの料理や、紅花染めなどについて調べ、実際に体験します。また、紅花の歴史について調べ、体験したことを中心に学習したことをまとめます。そして、4年生になり「紅花まつり」の中で活動してきたことについて地域の方々や観光客のみなさんに発信しています。こうした活動は、地域の「畑の先生」の指導のもと、地域の方にインタビューするなど、地域とのかかわりの中で進めています。



紅花の観察



間引きした紅花の乾燥



乱花を使った漬物づくり



紅花についての発表

##### 地域のよさを発信する（6年生）

「山形紅花まつり」の時に、高瀬駅から会場までシャトルバスを運行します。「訪れたみなさんに高瀬地区のよさを知ってほしい」という子供たちの願いから、「地域ガイド」の広報活動をしています。改めて自分たちの住む地域について調べ、パンフレットにまとめながら伝える内容を精査していく中で、「高瀬」についての理解を広め深めています。

「見知らぬ人たちに話しかけてドキドキした」、「クイズ形式で地元の情報をおいかけると工夫したら興味を持って聞いてくれた」と6年生。当日は、シャトルバスの中で、そして、会場でパンフレットを配りながらガイドする中で、「相手意識」を大切にしながら、「おもてなし」の心で対応しようとする子供たちの姿をうかがうことができます。

他にも、「紅花音頭」の踊りを通して地域のよさに迫る活動に、3・5年生が取り組んでいます。「紅花まつり」を通して、人々と交流しながら学び、発信することで「大好き 高瀬！」と感じる子供をめざしています。

今年の「山形紅花まつり」は、7月12日（土）、13日（日）の2日間開催されます。その1日目に子供たちは活躍します。



高瀬駅での案内



紅花会場での案内



会場の人みんなで踊った紅花音頭



みごとに咲いた紅花